

令和7年度 北海道中学校体育大会

第56回北海道中学校陸上競技大会開催要項

第52全日本中学校陸上競技選手権大会標準記録突破指定大会

- 1 主 催 (一財)北海道陸上競技協会・北海道中学校体育連盟・北海道教育委員会
室蘭市教育委員会
- 2 主 管 室蘭地方陸上競技協会・室蘭市中学校体育連盟
- 3 後 援 北海道・室蘭市・北海道都市教育委員会連絡協議会・北海道町村教育委員会連合会
北海道中学校長会・室蘭市中学校長会・(公財)北海道スポーツ協会
(一財)室蘭市スポーツ協会・北海道PTA連合会・札幌市PTA協議会・北海道新聞社
- 4 会 期 令和7年7月22日(火)・23日(水)・24日(木)
- 5 会 場 (1) 競 技 日鋼室蘭スポーツパーク(室蘭市入江公園陸上競技場)
〒051-0023 室蘭市入江町1-28 TEL 0143-24-3443
(2) 専門委員長会議 7月21日(月) 15:00～
(3) 開 始 式 7月22日(火) 10:00～ 日鋼室蘭スポーツパーク
(4) 閉会宣言 7月24日(木) 13:00～ 日鋼室蘭スポーツパーク
- 6 競技種目 (1) 男 子 (13種目)
100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 110mH
4×100mR(学校単独1チーム) 走高跳 棒高跳 走幅跳 砲丸投(5.0kg)
四種競技(1日目 ①110mH ②砲丸投(4.0kg):2日目 ③走高跳 ④400m)
(2) 女 子 (10種目)
100m 200m 800m 1500m 100mH
4×100mR(学校単独1チーム) 走高跳 走幅跳 砲丸投(2.721kg)
四種競技(1日目 ①100mH ②走高跳:2日目 ③砲丸投(2.721kg) ④200m)
- 7 日 程

	8:00	9:30	10:00	12:00	13:00	15:00	16:00	17:00
21日(月)				受 付・ 公開練習		専門委員長会議		
第1日目 22日(火)	受付・公開練習 開始式			競 技 会				
第2日目 23日(水)	受付・公開練習			競 技 会				
第3日目 24日(木)	受 付 公開練習	競 技 会			閉会宣言			

- 8 参加資格
- (1) 北海道中学校体育連盟に加盟する中学校・中等教育学校・義務教育学校に在籍する生徒で、北海道中学校体育大会への出場資格を得、当該学校長及び当該地区中体連会長が出場を認めた生徒とする。
 - (2) 年齢は、平成22年4月2日以降に生まれた者に限る。
 - (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、令和7年6月30日までに、北海道中学校体育連盟に申し出ること。
 - (4) 2025年度日本陸連登録会員であること。
 - (5) 地区中学校陸上競技大会(21地区中体連)において1位および別記の標準記録を突破した生徒。
 - (6) 全日本中学校通信陸上競技大会北海道大会(10会場)で別記の標準記録を突破した生徒。
 - (7) 参加生徒の引率者及び監督は、当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。ただし、市町村教育委員会の判断に基づき、学校長がやむを得ないと判断した場合には、外部指導者のみの引率及び監督業務の遂行を認める。
 - (8) 外部指導者は校長が認めた者で北海道中学校体育連盟に登録されたものとする。
 - (9) 監督・引率者は、部活動の指導中の暴力等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けて

いない者であること。外部指導者は校長から暴力等による指導措置が無いこと。

- (10) チームは、単一学校で編成されたものとする。但し、実施の事業主体が市町村教育委員会または市町村校長会である拠点校部活動はその限りではない。拠点校部活動の監督・引率は出場校の校長または教員があたるものとする。但し、やむを得ない場合は、代表監督・引率を認める。
- (11) 参加者は、開催要項に掲げる個人情報の取り扱いについて了承するものとする。
- (12) 同一年度内の参加は1人1競技とする。ただし、夏季競技と冬季競技の重複は認めるものとする。
- (13) 北海道中学校体育大会における参加の特例

◎学校教育法 134 条の各種学校在籍生徒

- ① 学校教育法第 134 条の各種学校（第 1 条に掲げるもの以外）に在籍し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。
- ② 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
 - A 北海道中学校体育大会の参加を認める条件
 - ア 北海道中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 生徒の年齢及び修業年限が我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
 - ウ 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
 - B 北海道中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件
 - ア 北海道中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 北海道中学校体育大会参加に際しては、責任ある当該校校長又は教員が生徒を引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

◎地域クラブ活動に所属する中学生

- ① 地域クラブ活動に所属し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。
- ② 北海道中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
 - A 北海道中学校体育大会の参加を認める条件
 - ア 北海道中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。
 - ウ 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
 - エ 『運動部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン』（令和 4 年 12 月 27 日スポーツ庁・文化庁発出）の「II 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
 - オ 競技を管轄する北海道競技団体もしくは地区競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で地区中学校体育連盟に登録していること。
 - カ 北海道大会の予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
 - キ 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
 - B 北海道中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件
 - ア 北海道中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 北海道中学校体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

- ウ 北海道中学校体育大会への参加に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
 - エ 団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。
 - C 参加を認めない場合
 - ア 北海道中学校体育大会の参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。
- ③ 北海道中学校陸上競技大会参加の特例細則
- 在籍している学校の所属、または日本陸上競技連盟に登録をしている地域クラブ活動の所属からのいずれかで参加できる。いずれの場合も、在籍している学校が所在する市町村より、標準記録突破指定大会、全日本中学校陸上競技選手権大会に参加する。ただし、以下の2つの要件を満たす場合は、地域クラブ活動の登録所在地の市町村より参加することができる。
- ① 「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」又は「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」に在籍している場合。
 - ② 在籍している学校に希望する部活動が無いこと等の場合において、北海道中学校体育連盟及び地区中学校体育連盟が市町村をまたいだ大会参加を満たしている場合。
- リレー及び駅伝については別紙「参加資格」を参照すること。（北海道中体連 HP 参照）

- 「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」の定義について（北海道中体連）
- 「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」とは、当該団体が在籍地等の教育委員会や学校等と連携しながら、地域移行に向けて取組を進めているクラブ（教育委員会の承認が必要）のことであり、複数のチームから一部の選手のみを選抜した形でつくるような地域クラブ活動を意味するものではないこと。
- 【該当競技・該当種目】
- ・陸上競技リレー ・陸上競技駅伝 ・体操団体 ・新体操団体 ・卓球団体
 - ・剣道団体 ・バスケットボール（バスケットボールについては、本競技細則の内容に則ること）
- ※₁ 各市町村教育委員会と連携し、域内の学校部活動の地域移行に向けた具体的な取り組みに日常的に参画したり、学校部活動を地域移行させるための団体として指定したりしている団体であること。
- ※₂ 域内の中学校の生徒が所属している団体であるということのみを持ってして、「地域移行の受け皿」であるということには該当しないこと。

9 参加標準記録（追い風参考記録も対象とする）

男子（13種目）				女子（10種目）			
種目	写真判定	手動		種目	写真判定	手動	
		全天候	シダー			全天候	シダー
100m	11“70	11“5	11“7	100m	13“20	13“0	13“2
200m	24“10	23“9	24“1	200m	27“80	27“6	27“8
400m	56“30	56“3	56“7	—	—	—	—
800m	2’12“40	2’13”4		800m	2’32“00	2’33”0	
1500m	4’33“50	4’37”0		1500m	5’17“00	5’20”0	
3000m	9’57“50	10’03”0		—	—	—	—
110mH	17“50	17“4	17“6	100mH	16“90	16“8	17“0
走高跳	1m61	1m56		走高跳	1m40	1m35	
棒高跳	2m80	2m70					
走幅跳	5m75	5m65		走幅跳	4m65	4m55	
砲丸投	10m30	10m30		砲丸投	9m50	9m50	
四種競技	1,750点	1,650点		四種競技	1,875点	1,725点	
4×100mR	47“00	46“9	47“3	4×100mR	53“60	53“5	53“9

- ※ 四種競技の個々の記録が標準記録を突破していても、個々の種目に出場することはできない。
 ※ ハードルの規格と投てき物の重量は、次の通りとする。

ハードル

性別	高さ	ハードル間
男子	0.914m	9.14m
女子	0.762m	8.00m

投てき物

性別	種目	重量
男子	砲丸投	5.000 kg
	四種競技	4.000 kg
女子	砲丸投	2.721 kg
	四種競技	2.721 kg

10 競技規則

2025年(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会開催要項及び申し合わせ事項による。

11 競技方法

- (1) 学校対抗とせず、個人選手権とする。
- (2) 予選・準決勝・決勝の組み合わせ抽選は、主管団体で行う。
- (3) 1人の出場種目は、リレーを除き2種目とする。但し、2種目に参加する者は2種目とも参加資格の項目にあてはまる者に限る。
- (4) リレーチームは、単一学校の生徒で編成され、男女ともそれぞれ1チームとする。

12 参加料

- (1) 個人種目 1種目 2,500円 2種目 3,500円
リレーのみ出場 500円
- (2) リレー 1チーム 8,000円

13 アスリートビブス

1組500円を申込人数分、参加料と同時に納入のこと（リレーのみの選手も含む）。

14 表彰

- (1) 入賞者は各種目8位までとし、賞状を授与する。
(但し、リレーの4位以下は賞状1枚とし個人には授与しない)。
- (2) 各種目3位までの入賞者全員にメダルを授与する。
- (3) リレー優勝チームには、優勝杯を授与する（持ちまわり）。

15 申込方法

- (1) 各中学校は、所定の用紙（参加申込書、四種競技申込個票）に記入したものを1部作成し、参加料（含アスリートビブス代）、その他必要な書類を添えて、各地区中体連事務局に申し込むこと。
あわせて、各中学校は北海道中体連陸上競技専門委員会HP (<http://hokkaido-rikkyo.jp/do/>)
または室蘭地方陸上競技協会HP (<http://muroriku243443.wixsite.com/muroriku>) より参加申込書をダウンロードし、各地区中体連事務局にデータを送付すること。
- (2) 各地区中体連事務局は、地区陸上競技専門委員長の立ち会いのもとに、申込書及び参加料を確認の上、総括申込書・種目別参加者一覧表・送金内訳表、派遣審判報告用紙を作成し、下記の大会事務局に申し込むこと。
また、各中学校より送付されたデータを集約し、下記の申込先にE-mailにて送付すること。
なお、参加料（含むナンバーカード代）については下記振込先に振り込むこと。
- (3) 申込期日 **令和7年7月2日（水）正午までに必着のこと。**
申込データは、**7月1日（火）16:00迄**に送信すること。
- (4) 申込先：大会事務局

各地区中体連事務局に別途お知らせ済

- 16 宿 泊 別紙により紹介する。詳しくは「日本旅行苫小牧支店」作成の宿泊要項による。

17 その他

- (1) 地区中体連事務局（地区中体連陸上競技専門委員長）が作成し、提出するもの
 - ①四種競技で全国標準記録突破者がいない場合
 - Ⓐ訂正プログラムを1部作成
 - Ⓑ成績一覧表（予選・準決勝・決勝・リレー・フィールド記録用紙・混成競技記録用紙）を2部作成
 - ・大会事務局にⒷ成績一覧表を1部送付する（登別市立幌別中学校）
 - ・北海道中学校体育連盟陸上競技専門委員長にⒶⒷ各1部送付する（札幌市立藻岩中学校）
 - ②四種競技で全国標準記録突破者がいた場合
 - Ⓐ訂正プログラムを2部作成（コピー可）
 - Ⓑ成績一覧表（予選・準決勝・決勝・リレー・フィールド記録用紙・混成競技記録用紙）を3部作成
 - ・大会事務局にⒷ成績一覧表を1部送付する（登別市立幌別中学校）
 - ・北海道中学校体育連盟陸上競技専門委員長にⒶⒷ各2部送付する（札幌市立藻岩中学校）
- (2) 全日本通信陸上競技大会北海道大会開催（10会場）の主管中体連（地区中体連陸上競技専門委員長）が作成し、提出するもの。
 - ①訂正プログラムを2部作成（コピー可）
 - ②成績一覧表（予選・準決勝・決勝・リレー・フィールド記録用紙・混成競技記録用紙）を3部作成
 - ・大会事務局に②成績一覧表を1部送付する（登別市立幌別中学校）
 - ・北海道中学校体育連盟陸上競技専門委員長に①②各2部送付する（札幌市立藻岩中学校）
- (3) 参加選手のアスリートビブスは大会事務局で用意する。
（走高跳・棒高跳・走幅跳の出場者は、胸または背につけるだけでよい）。

- (4) テント位置の割り当ては、地区中体連ごとに表示する。
- (5) 監督会議は開催しないので、要項と各地区中体連事務局（地区中体連陸上競技専門委員長）からの連絡を承知の上、参加生徒に徹底すること。
※開会式前日に専門委員長会議を開催する。委員長（含む代理）は必ず出席し、決定事項を参加各校に早急に伝達すること。
- (6) 各地区参加校監督の中から割り当てられた人数の審判を派遣する。
参加校監督・引率者は各地区中体連陸上競技専門委員長に審判の可否を報告すること。
※各地区中体連陸上競技専門委員長は大会参加申し込みと同時に審判員名簿を提出する。
- (7) 関連情報を陸上競技専門委員会HP (<http://hokkaido-rikkyo.jp/do/>) で随時掲載する。
- (8) 個人名の外字対応については、可能な限り行うが、システム的に困難な場合もある。
- (9) 大会に関する個別の質問等については、所属チームの監督を通して、各地区専門委員長に問い合わせること

18 第52回全日本中学校陸上競技選手権大会への参加について

- (1) 会 場 タピック県総ひやごんスタジアム
- (2) 会 期 令和7年8月17日（日）～20日（水）
- (3) 参加資格 等
 - ①第56回北海道中学校陸上競技大会において参加標準記録に到達した者。
ただし、リレー（男女）においては、同大会において優勝した学校。
 - ②第71回全日本中学校通信陸上競技北海道大会（10会場）において参加標準記録に到達した者。
 - ③各地区中体連大会（公認大会）において、四種競技の参加標準記録に到達した者。
 - ④全国大会参加の際、宿泊については、実行委員会より斡旋された宿舎を必ず利用すること。
 - ⑤大会要項、申込書類等については、陸上競技専門委員会HPよりダウンロードすること。
- (4) 申込〆切 令和7年8月1日（金）12:00（必着厳守）
※ 各参加校は「全日本中学校陸上競技選手権大会所属団体参加申込書（様式B）」に選手名・記録等を記入せず、公印（当該学校長の印）を押印の上、持参すること。
- (5) 申 込 先

〒005-0807
 札幌市南区川沿7条3丁目4番1号
 札幌市立藻岩中学校
 佐藤光司
 TEL011-571-6039 FAX011-572-3333

19 第51回全日本中学校陸上競技選手権大会標準記録(案)(追い風参考記録は対象としない)

男子(13種目)		女子(10種目)	
種目	写真判定	種目	写真判定
100m	11"10	100m	12"50
200m	22"65	200m	25"80
400m	51"40	400m	—
800m	1'59"50	800m	2'16"50
1500m	4'08"00	1500m	4'38"00
3000m	8'55"50	3000m	—
110mH	14"70	100mH	14"60
走高跳	1m85	走高跳	1m60
棒高跳	4m00	棒高跳	—
走幅跳	6m60	走幅跳	5m40
砲丸投	13m30	砲丸投	12m50
四種競技	2500点(電気計時)	四種競技	2630点(電気計時)
4×100mR	各都道府県1チーム (学校単独チーム)	4×100mR	各都道府県1チーム (学校単独チーム)

20 個人情報の取り扱い

- (1) 大会参加者の氏名・所属・学年はプログラム、掲示板、ホームページ及び記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。
- (2) 選手の大会成績はホームページ及び記録集「闘志と栄光の軌跡」へ記載するために利用する。
- (3) 選手の写真は、記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。
- (4) 選手の生年月日は、年齢を確認するために利用する。
- (5) 引率者または監督の連絡先は大会運営のため、緊急を要する場合に利用する。
- (6) 選手の予選会の競技記録は、ランキング表作成及び番組編成のために利用する。